



## 記

9月になってから10月まで体調を崩して久しぶりにしんどいです。スケジュールも琵琶湖での合同三田会翌日から声が全く出なくなり、電話に出ると相手の方が慌てて切ってしまわれる日が続き大幅修正。薬が効かないのも、じれったいものです。漸く回復に向かう兆しが出てきたので、今日はお約束の「こうもり」を二三出して見ました。お二人ほどが以前ご覧になっていますが、ご覧になってない方は勿論、私でさえこんなに良かったかしらと思う豪華なDie Fledermausです。J. シュトラウス作曲、英国ロイヤルオペラ 1990. ストーリーをここに書いても解りにくいので、各自ネットで調べて下さる方が当日楽しめます。予習を必ずなさいませう。

アイゼンシュタインという金持ちの主人公が、市長に嫌がらせをしたため刑務所に5日ほど入る羽目になり、その留守に夫人のロザリンデを未だ愛してるオペラ歌手の昔の友人が押しかけてくるのを追い返すために窓から飛び降りて！という、(フィガロの結婚で小姓(ケルビーノ)が窓から逃げ出す)ので「ケルビーノみたいに？」と言い、(トスカで！これは城壁から飛び降りて死ぬ)！と言われて観客は爆笑。ご主人のガウンを着てトゥーランドットの「眠ってはならぬ」で又、とオペラの知識が無ければ笑いについて行けません。男性歌手でソプラノ声(カウンターテナー)に往年の名歌手ヨッヘンコワルスキーが大熱演です。最後はサブライズで大変な盛り上がりになります。ではお会いする日を楽しみに。

以上

青戸

